



新時代を迎えて

企画部長 吉田友雅

今年はおリンピックの年です。シニア活動の森として「ゆめの芽助成金」がなくなり自主的運営を余儀なくされる年です。また私たちの市民にたいしていかにか企画・内容が問われ年であります。当会が7年間「ゆめの芽助成金」を頂いて、その結果を問われる年でもあります。ボランティアの活動の3原則「自主性」「無償」「公共性・公益性」主軸とし、会員全員がこの原則を自分のものとし、市民が満足頂ける企画をたて、その満足性を我々がそのことによっていかにか感じるかが必要となっていきます。

今大事なことはわたくしたちの個々の問題を問うのではなく、会全体として市民一人一人に満足いただけるか第一であります。それには会員一人一人が日々精進し、お互いの情報、経験を生かして、交換してゆき、明るく行動することが大事であります。

お互いに市民に大いに満足していただいたと確信する企画を以て頑張りましょう。

野外研修「晩秋の鎌倉散策・写経体験」開催報告

交流・学習部長 升森誠一

11月26日(火)晩秋の曇り空、寒い一日でしたが会員16名は元気に小田急線町田駅を出発し、鎌倉を目指しました。

片瀬江の島で下車し、鎌倉の寺社や歴史に詳しい会員岡本さんの解説で、事前に配布した『岡本さんの一口知識』の資料を元に散策開始です。まずは、処刑された蒙古の国使「元使塚」のある『常立寺』。モンゴル出身の力士が毎年参拝するそうです。次に『龍口寺』。日蓮聖人は「立正安国論」を著し、幕府はこれを政権への中傷と



受け止め、日蓮をこの地に連行し斬首の準備を調べました。ところがこの時「江ノ島の方より満月のような光りものが飛び立って斬首役人の目がくらみ」斬首は中止となりました。これが日蓮聖人の四大法難の

一つ「滝口法難」であり、日蓮宗霊跡本山随一の霊場となりました。三か所目は、『満福寺』。ここは、源義経が、平家討伐後頼朝の命に反したとの理由で鎌倉に入ることが許されず、満福寺に逗留し無実を切々と訴え、大江の広元にとりなしを依頼した有名な「腰越状」のある寺です。昼食は、おしゃれでカフェテラス的な腰越「しらすや」。生シラスと釜揚げシラスと地魚の入った三色丼は新鮮で美味しく、熱燗が冷え切った体に染みわたり、心も体もほっこり気分になりました



昼食後は、江ノ電に乗って『長谷寺』。木彫物としては日本最大級(9.18m)の十一面観世音菩薩(長谷観音)や相模湾の眺望を眺めた後、書院にて写経です。先ず、塗香(ずこう)を手でこすり合わせて、お香を体にすり込ませ清めます。そしてそれぞれ願いを込めて一字一字丁寧に写経をしていきます。集中してお経を書くと雑念が取り払われて心が洗われるような気持ちになります。書き上がったら、願い事を書いてお寺に奉納します。最後に、鎌倉駅前に出て、男性も含め全員で食べた甘味処「納言志るこ」の田舎しるこも程よい甘さで絶品でした。全員甘くて暖かく心の満たされた鎌倉の体験でした。



「歌って笑顔 笑って健康」開催報告

歌の会 高橋 彰

今年度3回目の『歌う会』を、12月2日(月)杜のホールはしもと 多目的室にて実施しました。

これまでは比較的天候に恵まれ多くの高齢者が足を運ばれ歌を楽しまれました。今回はあいにく雨の降る寒い日となり、事前申込者の2割が欠席となりましたが当日受付けも加わり、スタッフ含め総勢168名規模で行う事ができました。講師である城直美さんは、6月に続き今年度2回目です。クリスマスソング含め晩秋から冬にかけての季節感溢れる曲に加え、なつかしい『わらべ歌』『童謡』『外国から伝わる曲』『フォーク』等幅広く選曲されました。又歌唱の合間のトークや、講師独自に用意された曲の合唱で上手に参加者の声の引き出しに努めて頂き、タイトルに相応しく笑顔で会を閉じることができました。次回の2月26日(水)は、現在も現役で演奏活動されているソプラノ歌手の福田美樹子さんとピアノ伴奏を遊間郁子さんに講師をお願いします。



「おひとり様の終活」講座報告

輝きの会 竹内三枝子(終活カウンセラー上級)

11月6日(水)ソレイユさがみ セミナールームにて開催。30名募集のところ70名以上の応募がありましたが、スタッフ不足もあり50名で打ち切りました。しかし、当日は42名の参加となりました。宍戸先生にはお忙しい中、傍聴していただきました。「輝きの会」では、3月の講座の反省を活かし、困った時に相談できる相手などについて定例会で学び合い、メンバーは協議のリーダーとして当日を迎えました。グループ協議を25分取り、不安を共有したりアイデアを得たりし、気持ちがほぐれる様子が見られました。また、生前契約や死後事務委託等今後考えていかなければいけないことがわかったなどの感想がありました。相模原市民として、相模原市で、老後を安心して暮らすために、行政サービスの利用の仕方や終活の在り方をさらに学び、市民に提供していきたいと感じました。



「歴史講演会」開催報告

歴史同好会 吉田友雅

毎年の恒例事業となった歴史講演会を、令和元年10月19日(土)午後2時から杜のホールはしもとにて開催しました。講師は昨年もお願した神奈川歴史研究会会長の竹村紘一さん。テーマは「人間西郷隆盛の実像に迫る」。昨年のテーマ「西郷隆盛と江戸城無血開城」に続き、その後の西郷がなぜ明治政府から脱退し、西南戦争で散るに至ったかを、持ち前の博識と巧みな話術を駆使しての迫力ある講演でした。参加者はスタッフも含めて約150名、歴史が大好きな方々が会場を埋め尽くしました。中には鹿児島出身で西郷話を楽しみに来られた方、そしてなんと曾祖母が西郷さんにご面識があったという方も来られていました。現代になっても、西郷さんを慕う人々が多数おられることを実感した講演会でした。今年は10月29日(木)午後開催する事が決定しました。



第9回定期総会の案内 開催日 令和2年4月13日(月) 場所 相模原市市民会館

2月 講座等の開催予定

講座名	講師	開催月日・時間	場所	募集人員	参加費	責任者
歌って笑顔 笑って健康	ソプラノ歌手 福田美樹子さん	2/26(水) AM 9:45~11:30	杜のホール 多目的室	110名	700円	高橋

編集後記

1月~2月は寒さが一段と厳しい季節です。風邪をひかないよう体調管理に気を付けて活動しましょう。会報に対するご意見・ご要望がございましたら、連絡いただければ幸いです。

広報編集担当 高橋、平本、川本、若井(編集責任者)記

